

チームをアジャイルに！

# アジャイル

入 門 書

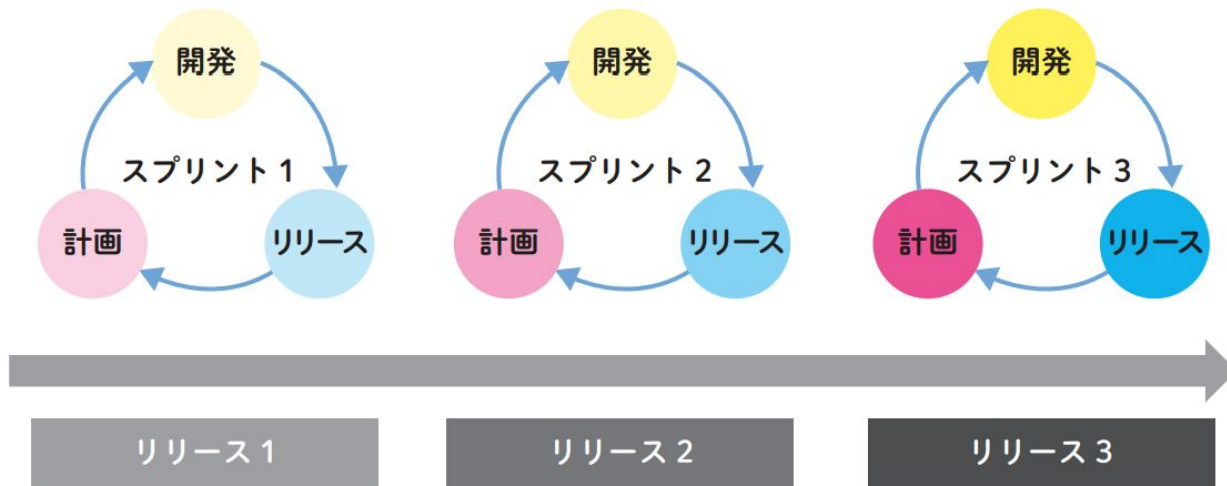
Lychee Redmine 活用ガイド



## **01.**アジャイル開発とは

# アジャイル開発とは

動作する機能単位に開発して、なるべく早く小さいサイクルで繰り返しリリースしていく手法です。





要件の変更に**柔軟に対応**する



**迅速かつ継続的**なリリース



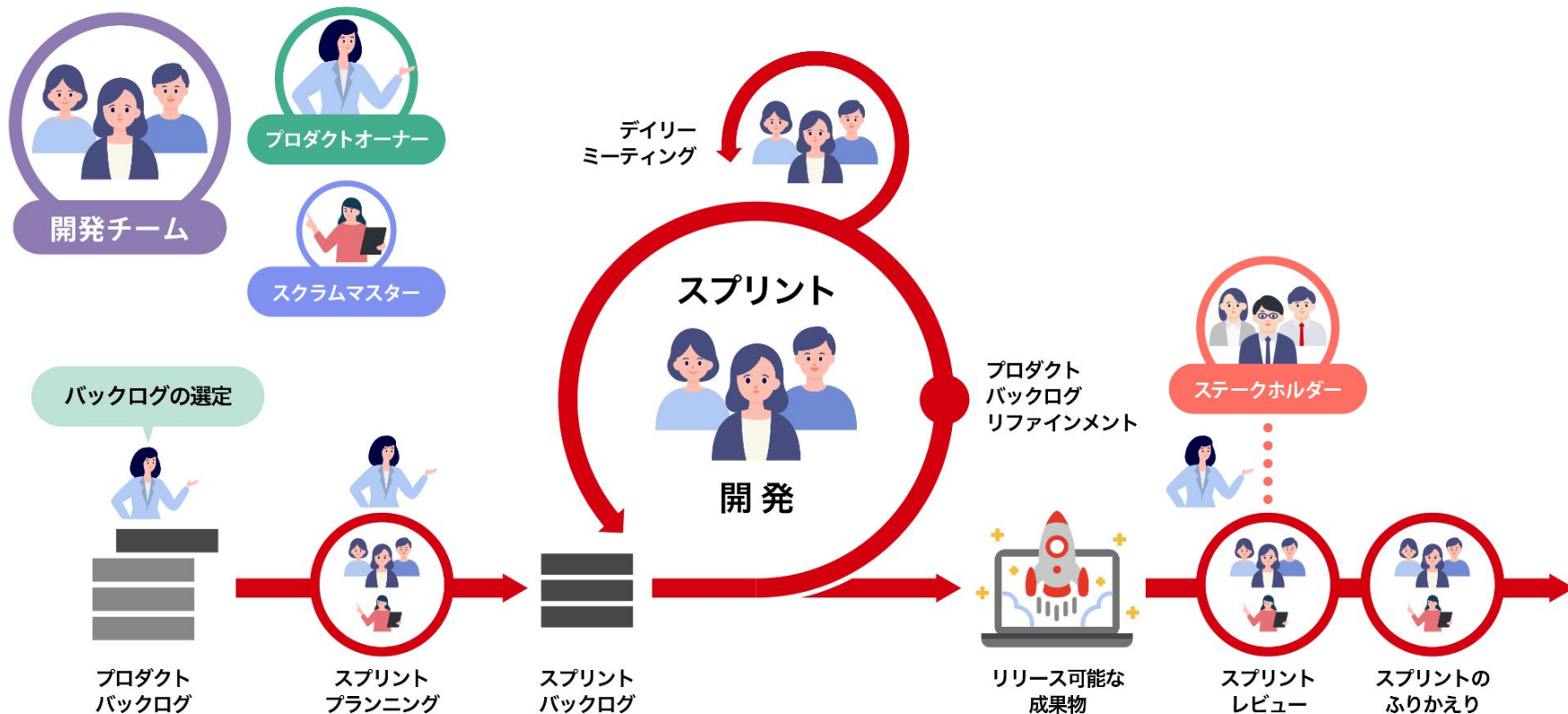
**リスクを最小限**にできる



高い**顧客満足**

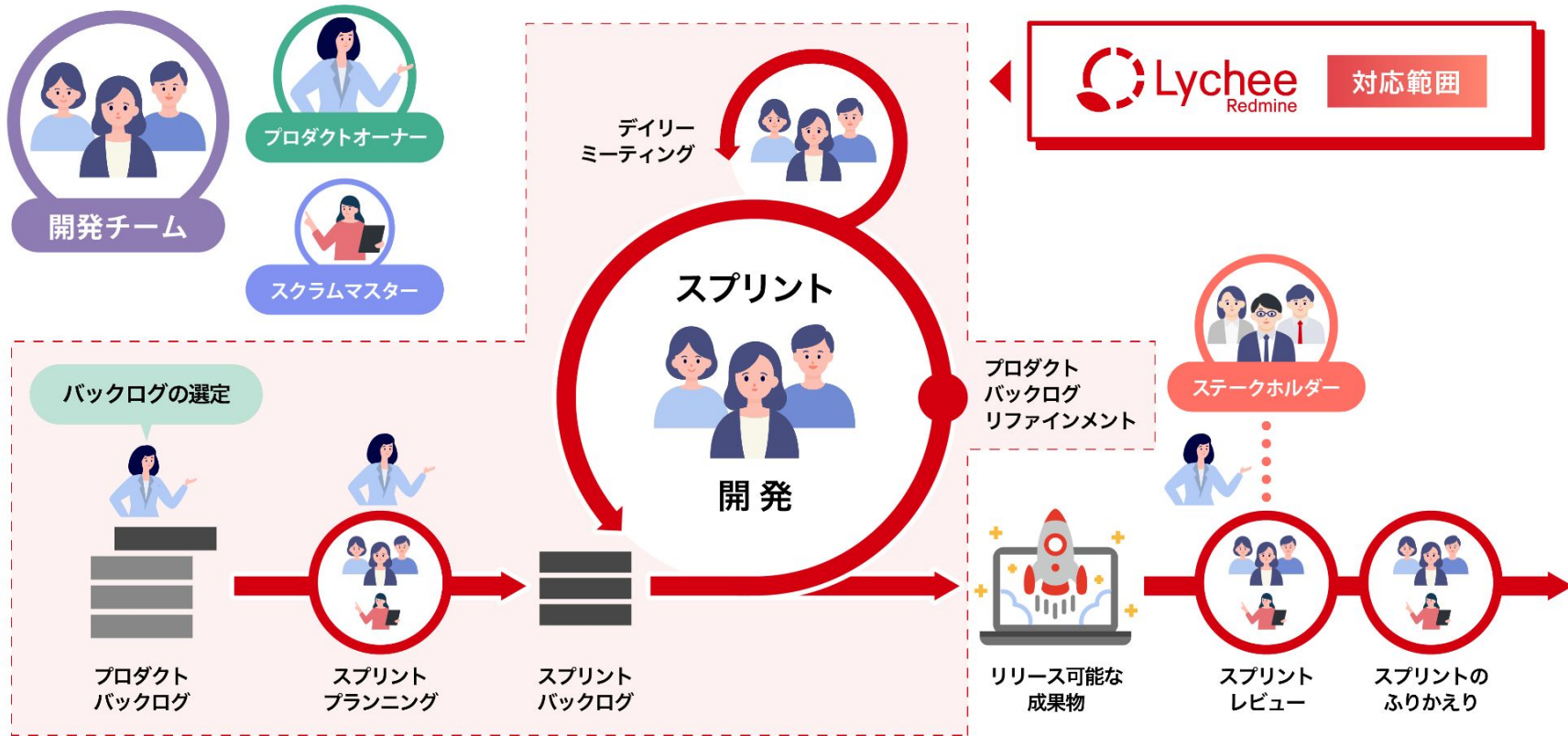
市況の変化に素早く適応することで、  
顧客の競争力を高めビジネスを成功に導きます

# スクラムによる流れ





# スクラムによる流れ-Lychee Redmineの対応範囲-



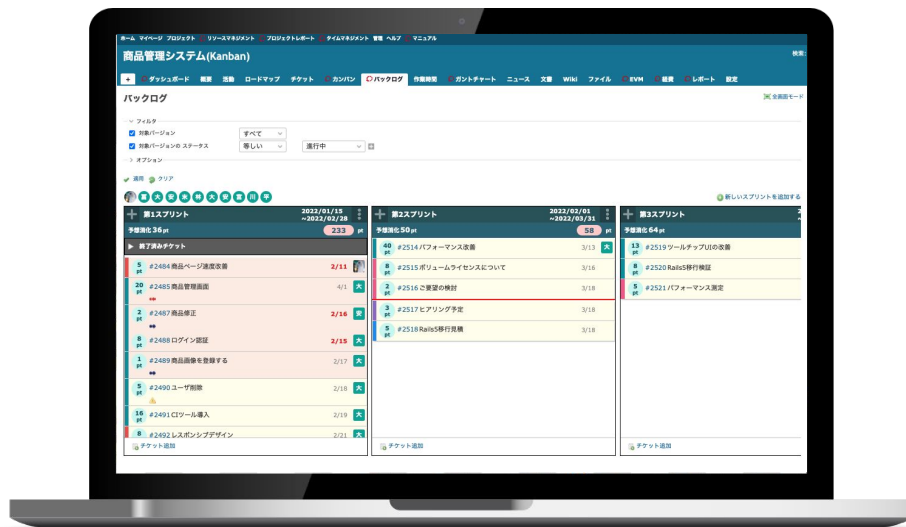
王道パターンをご紹介します！

## 02. Lychee Redmineでアジャイル開発

# Lychee Redmineはアジャイル開発にも対応



これから**アジャイル開発**を始めたい方、  
一部のプロジェクトで**アジャイル開発**を取り入れたい方も気軽にお試しいただけます。





# Lychee Redmineのバックログ・カンバン機能を使用



## 全体の計画:バックログ

バックログ

フィルタ  
対象バージョン: すべて  
対象バージョンのステータス: 等しい  
ステータス: 進行中

バックログの項目:

スプリント	タスクID	タスク内容	予定完了日	進捗
第1スプリント (2022/01/15 ~ 2022/02/28)	5	#2484 商品ページ速度改善	2/11	完了
第1スプリント	20	#2485 商品管理画面	4/1	完了
第1スプリント	2	#2487 商品修正	2/16	完了
第1スプリント	8	#2488 ログイン認証	2/18	完了
第1スプリント	1	#2489 商品画像を登録する	2/17	完了
第1スプリント	5	#2490 ユーザ削除	2/18	完了
第1スプリント	16	#2491 CIツール導入	2/19	完了
第1スプリント	8	#2492 レスポンシブデザイン	2/21	完了
第2スプリント (2022/02/01 ~ 2022/03/31)	40	#2514 パフォーマンス改善	3/13	完了
第2スプリント	8	#2515 ボリュームライセンスについて	3/16	完了
第2スプリント	2	#2516 必要の検討	3/18	完了
第2スプリント	3	#2517 ヒアリング予定	3/18	完了
第2スプリント	5	#2518 Rails5移行見積	3/18	完了
第3スプリント (予定)	13	#2519 ツールチップUIの改善		
第3スプリント	8	#2520 Rails5移行検証		
第3スプリント	5	#2521 パフォーマンス測定		

## タスク管理:カンバン

大 安 未 林 大 安 宮 川 平

機能 | バグ | サポート | QA | タスク

予 201.00H 実 52.00H 残 149.00H 未完 164

タスクID	タスク内容	進捗	ステータス
#2503	商品管理画面	4/1	H
#2504	検索結果表示	3/29	H
#2520	検索機能	4/1	H
#2505	商品修正	2/28	2H
#2506	ログイン認証	2/25	8H

00. スプリントの期間を設定
01. プロダクトバックログを定義
02. 規模感を見積もる
03. プロダクトバックログを分割
04. 作業に着手する
05. バーンダウンチャートの確認



## Step0

# スプリントの期間を設定

バックログ

新しいスプリントを追加する

第1スプリント 2019-04-01 ~2019-04-30	第2スプリント 2019-05-01 ~2019-05-31	第3スプリント 2019-06-01 ~2019-06-30
予定消化 23 pt 26 pt	予定消化 24 pt 137 pt	予定消化 21 pt 154 pt
完了済みチケット	完了済みチケット	完了済みチケット
5 pt メールアドレス変更 水口 崇 5/6	8 pt ボリュームライセンスについて 6/13	13 pt ツールチップUIの改善 平岡 厚直 6/16
1 pt 商品テストデータ登録 水口 崇 5/7	2 pt ご要望の検討 6/13	40 pt パフォーマンス改善 大橋 宏行 7/31
5 pt テスト仕様書作成 水口 崇 5/10	3 pt ヒアリング予定 6/15	8 pt Rails5移行検証 6/17
2 pt フロントエンド技術調査 米田 龍子 5/10	5 pt Rails5移行見直し 6/15	5 pt パフォーマンス測定 宮本 吉之助 6/19
5 pt webpackの導入 米田 龍子 5/11	20 pt 商品管理画面 大橋 宏行 7/1	8 pt OSSライブラリ修正 7/31
5 pt 商品ページ速度改善 米田 龍子 5/11	5 pt 勤怠システム構築 川名 真里 6/30	2 pt メール通知 7/31
2 pt 商品修正 安西 博満 5/16	3 pt DB移行作業 川名 真里 6/30	5 pt データ修正ツールの作成 米田 龍子 7/31
1 pt 商品画像を登録する 水口 崇 5/17	2 pt Redmine運用サポート 川名 真里 6/30	20 pt 外部公開APIの作成 米田 龍子 7/31
	2 pt チケット作成の仕様 宮本 吉之助 6/30	8 pt 開発環境のDocker化 米田 龍子 7/31

# スプリントの期間を設定

計画線の表示方法

チケットに表示する項目

チケットID  プロジェクト  説明  担当者  期日  予定工数  親チケット  先後続関係  警告アイコン  ブロッキング

コメント

カスタムフィールド

プロジェクトの設定画面から設定が可能です。  
今回は1週間で設定します。

▼ [バックログ]  
表示オプション

デフォルトのスプリント期間

バックログでポイントを利用する

バックログでサブプロジェクトのチケットを表示する

チケットに表示する項目

チケットID  プロジェクト  説明  担当者  期日  予定工数  親チケット  先後続関係  警告アイコン  ブロッキング

コメント

カスタムフィールド

最適なスプリントの長さは **プロジェクトの難易度や要求変更の頻度** などから決まります。  
世界的にメジャーなのは2週間です。

Step1

## プロダクトバックログを定義



プロダクトオーナー



チーム

バックログ

全画面モード終了

新しいスプリントを追加する

第1スプリント	2022/01/23 ~2022/02/28	233 pt
終了済みチケット		
5 pt	#2502 商品ページ速度改善	2/11
20 pt	#2503 商品管理画面	4/1
2 pt	#2505 商品修正	2/16
8 pt	#2506 ログイン認証	2/15
1 pt	#2507 商品画像を登録する	2/18
5 pt	#2508 ユーザ削除	2/19
16 pt	#2509 CIツール導入	2/21
8 pt	#2510 レスポンスデザイン	2/19
8 pt	#2511 開発環境のDocker化	2/20
20 pt	#2512 外部公開APIの作成	2/21
5 pt	#2513 データ修正ツールの作成	2/25

第2スプリント	2022/02/09 ~2022/03/31	58 pt
バグ	商品ページ速度改善	3/16
プロジェクト*	商品管理システム(Kar...	3/17
説明	ここに作業内容を記載	3/18
ステータス*	進行中	3/16
優先度*	通常	3/17
担当者	水口 崇	
対象バージョン	第1スプリント	
開始日	2022-02-10	
期日	2022-02-11	
実際期日	2022-02-10	
実際了日	2022-02-12	
工数を日数で表示	<input type="checkbox"/>	
予定工数	5	時間
残工数		時間

第3スプリント	予定高化 69 pt
13 pt	#2537 ツールチップUIの改善
8 pt	#2538 Rails5移行検証
5 pt	#2539 パフォーマンス測定

# プロダクトバックログアイテム(PBI)を定義

1 プロダクトバックログを定義

2 規模感を見積もる

3 プロダクトバックログを分割

5 作業に着手する

6 バーンダウンチャートの確認



The screenshot shows the Redmine Product Backlog interface. A red box highlights a backlog item: #2502 商品ページ速度改善 (5 pt, due 2/11). A callout bubble points to this item with the text "これがプロダクトバックログアイテム". Another red box highlights the description field of the selected item, which contains the text "ここに作業内容を記載". A callout bubble points to this field with the text "作業の内容を入力". The interface also shows a list of other backlog items and a detailed view of a selected item on the right.

Item ID	Description	Points	Due Date	Priority
#2502	商品ページ速度改善	5 pt	2/11	大
#2503	商品管理画面	20 pt	4/1	大
#2505	商品修正	2 pt	2/16	安
#2506	ログイン認証	8 pt	2/15	大
#2507	商品画像を登録する	1 pt	2/18	大
#2508	ユーザ削除	5 pt	2/19	大
#2509	CIツール導入	16 pt	2/21	大
#2510	レスポンスデザイン	8 pt	2/19	大
#2511	開発環境のDocker化	8 pt	2/20	大
#2512	外部公開APIの作成	20 pt	2/21	大
#2513	データ修正ツールの作成	5 pt	2/25	大

プロダクトバックログアイテムを作成します。作業の詳細は説明欄に記入しましょう。

# プロダクトバックログの優先順位付け

優先度の低いものはバックログレーンへ

1 プロダクトバックログを定義

2 規模感を見積もる

3 プロダクトバックログを分割

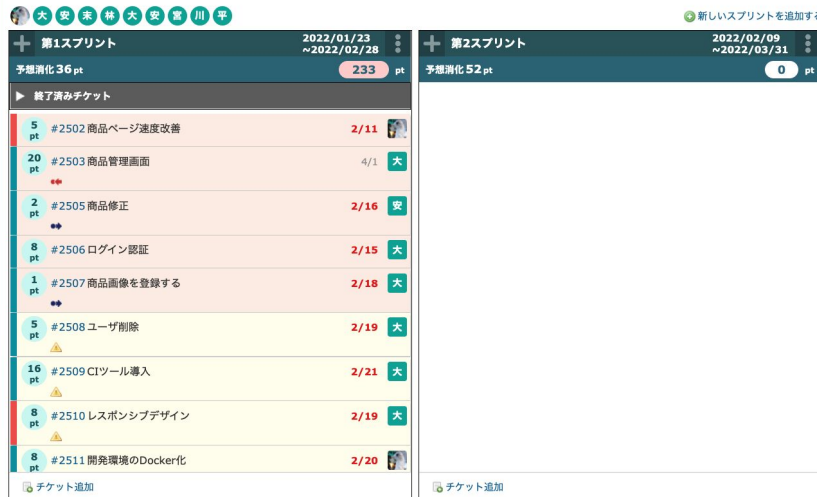
5 作業に着手する

6 バーンダウンチャートの確認

優先順位:高

優先順位:低

バックログ



優先順位	ポイント	タスク	担当者	期限
5	5	#2502 商品ページ速度改善	川	2/11
20	20	#2503 商品管理画面	大	4/1
2	2	#2505 商品修正	安	2/16
8	8	#2506 ログイン認証	大	2/15
1	1	#2507 商品画像を登録する	大	2/18
5	5	#2508 ユーザ削除	大	2/19
16	16	#2509 CIツール導入	大	2/21
8	8	#2510 レスポンシブデザイン	大	2/19
8	8	#2511 開発環境のDocker化	大	2/20



優先順位	ポイント	タスク	担当者	期限
5	5	#2540 工数管理システムの提案	川	3/23
3	3	#2541 モック画面作成	大	3/24
3	3	#2542 既存システムRedmine連携	川	3/24
13	13	#2543 在庫管理画面	平	4/1
5	5	#2544 バーコード機能の見積り	安	3/28
3	3	#2545 商品詳細表示	大	3/28
2	2	#2546 利用で検索できない	平	3/30
8	8	#2547 パスワード再発行	大	3/29

優先順位の並び替えをします。

次回以降の対応で良いものや、優先順位が低いものは右端に畳んであるバックログレーンに入れておきましょう。

ここからスプリントがスタートします





## Step2

# 規模感を見積もる



バックログ

大 安 未 林 大 安 香 川 平

第1スプリント 2022/01/23 ~2022/02/28

予想消化 36 pt 233 pt

16 pt	#2509 CIツール導入	2/21	大
8 pt	#2510 レスポンシブデザイン	2/19	大
8 pt	#2511 開発環境のDocker化	2/20	
20 pt	#2512 外部公開APIの作成	2/21	
5 pt	#2513 データ修正ツールの作成	2/25	
2 pt	#2514 メール通知	2/24	
8 pt	#2515 OSSライブラリ修正	2/25	
13 pt	#2516 ユーザ権限管理	2/25	
40 pt	#2517 スマホアプリ画面	2/26	
20 pt	#2518 Redmine 3.3対応	2/28	
0 pt	#2519 商品テストデータの確認	2/28	
1 pt	#2526 Lychee Gantt Chartの価格	3/8	宮

機能 CIツール導入

プロジェクト\* 商品管理システム(Kar)

説明

2022/02/09 ~2022/03/31 0 pt

ステータス\* 新規

優先度\* 通常

担当者 大下花

対象バージョン 第1スプリント

開始日 2022-02-17 x

期日 2022-02-21 x

実開始日 2022-02-17 x

実終了日 2022-02-18 x

工数を日数で表示

予定工数 時間

残工数 時間

ポイント 16

進捗率 0% v

親チケット

ブロッキング いいえ v

# ストーリーポイントによる規模感の見積もり

1 プロダクトバックログを定義

2 規模感を見積もる

3 プロダクトバックログを分割

5 作業に着手する

6 バーンダウンチャートの確認

バックログ

2022/01/23 ~2022/02/28

第1スプリント 233 pt

16 pt	2509 CIツール導入	2/21	大
8 pt	2510 レスポンシブデザイン	2/19	大
8 pt	2511 開発環境のDocker化	2/20	
20 pt	2512 外部公開APIの作成	2/21	
5 pt	2513 データ修正ツールの作成	2/25	
2 pt	2514 メール通知	2/24	
8 pt	2515 OSSライブラリ修正	2/25	
13 pt	2516 ユーザ権限管理	2/25	
40 pt	2517 スマホアプリ画面	2/26	
20 pt	2518 Redmine 3.3対応	2/28	
0 pt	2519 商品テストデータの確認	2/28	
1 pt	2526 Lychee Gantt Chartの価格	3/8	密

機能 CIツール導入

プロジェクト\* 商品管理システム(Kan)

説明

ステータス\* 新規

優先度\* 通常

担当者 大下花

対象バージョン 第1スプリント

開始日 2022-02-17

期日 2022-02-21

実開始日 2022-02-17

実終了日 2022-02-18

工数を日数で表示

予定工数 時間

残工数 時間

ポイント 16

進捗率 0%

チケット

ブロックング いいえ

チームで見積もったポイントを入力します。

# 今回のスプリントでどこまでやるかを定める

1 プロダクトバックログを定義

2 規模感を見積もる

3 プロダクトバックログを分割

5 作業に着手する

6 バーンダウンチャートの確認



終了したスプリントのベロシティを元に、次のスプリントでの予想(赤い線)が表示されます。ベロシティを参考にしながら、今回のスプリントで実施するプロダクトバックログを決めます。

## Step3

# プロダクトバックログを分割



大 安 未 林 大 安 宮 川 平

機能 バグ サポート QA タスク 予 201.00H 実 52.00H 残 149.00H 未完 164.00H

	新規(18)	進行中(5)	解決(0)
↓	#2503 商品管理画面 4/1 H		
↓	#2504 検索結果表示 3/29 H		
↓	#2520 検索機能 4/1 H		
↓	#2505 商品修正 2/28 2H		
↓	#2506 ログイン認証 2/25 8H		

# プロダクトバックログを分割

1 プロダクトバックログを定義

2 規模感を見積もる

3 プロダクトバックログを分割

5 作業に着手する

6 パーダウンチャートの確認



大 安 末 林 大 安 宮 川 平		
機能   <b>バグ</b>   サポート   QA   タスク		
予 201.00H 実 52.00H 残 149.00H 未完 164.00H		
新規(18)	進行中(5)	解決(0)
	#2503 商品管理画面 4/1 H	
	#2504 検索結果表示 3/29 H	
	#2520 検索機能 4/1 H	
	#2505 商品修正 2/28 2H	
	#2506 ログイン認証 2/25 8H	

作業にとりかかるときは、カンバンで作業を管理をします。

優先順別カンバンでプロダクトバックログを作業単位に分解しましょう。

# サインアップをする

1 プロダクトバックログを定義

2 規模感を見積もる

3 プロダクトバックログを分割

5 作業に着手する

6 パーンダウンチャートの確認



機能		バグ	サポート	QA	タスク	予 201.00H 実 52.00H 残 149.00H 未完 164.00H	
新規(18)		進行中(5)		解決(0)			
↓	#2503 商品管理画面	4/1	7	H			
↓	#2504 検索結果表示	3/29	H				
↓	#2520 検索機能	4/1	H				
↓	#2505 商品修正	2/28	2H				
↓	#2506 ログイン認証	2/25	8H				

アジャイル開発ではリーダーがタスクを「アサイン」するのではなく、担当者自ら優先順位の高いタスクから「サインアップ」します。必要であれば、各作業について予定工数を見積もります。

これで1つのスプリントの  
計画は完了です



## Step4

# 作業に着手する



大 安 未 林 大 安 宮 川 平

機能 バグ サポート QA タスク 予 201.00H 実 52.00H 残 149.00H 未完 164.00H

	新規(18)	進行中(5)	解決(0)
↓	#2503 商品管理画面 4/1 H		
↓	#2504 検索結果表示 3/29 H		
↓	#2520 検索機能 4/1 H		
↓	#2505 商品修正 2/28 2H		
↓	#2506 ログイン認証 2/25 8H		

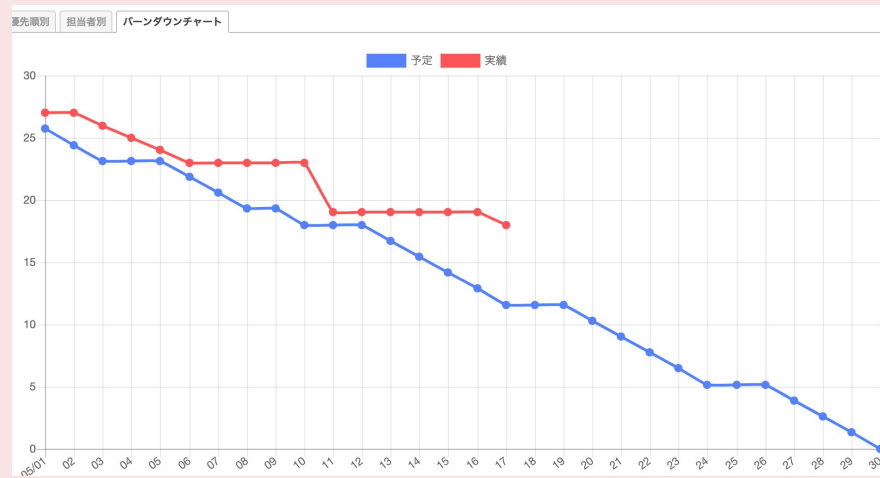




## Step5

### 進捗確認

# バーンダウンチャートの確認



# バーンダウンチャートの確認

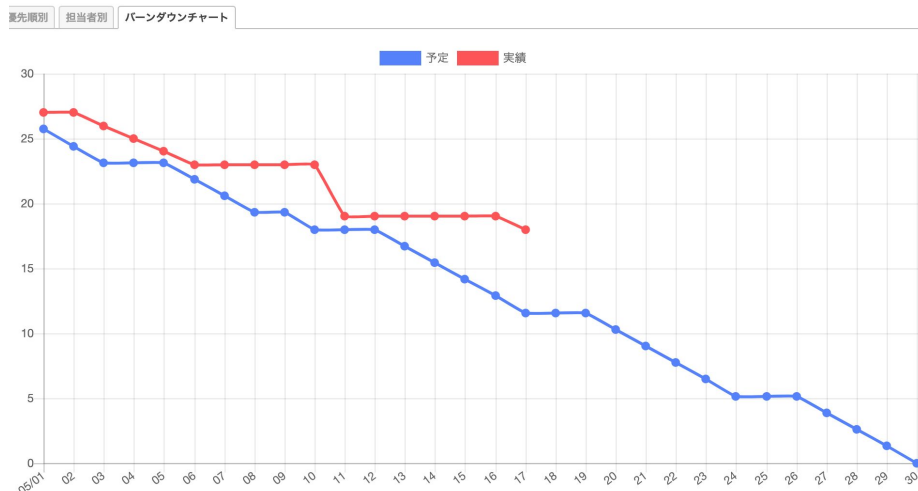
1 プロダクトバックログを定義

2 規模感を見積もる

3 プロダクトバックログを分割

5 作業に着手する

6 **バーンダウンチャートの確認**



スプリントの進捗はデイリーミーティングでバーンダウンチャートを使って確認しましょう。  
バーンダウンチャートの描画には、プロダクトバックログのポイント数または作業の予定工数を利用できます。  
チームはバージョンダウンチャートから問題が発生しているかどうかを把握できます。

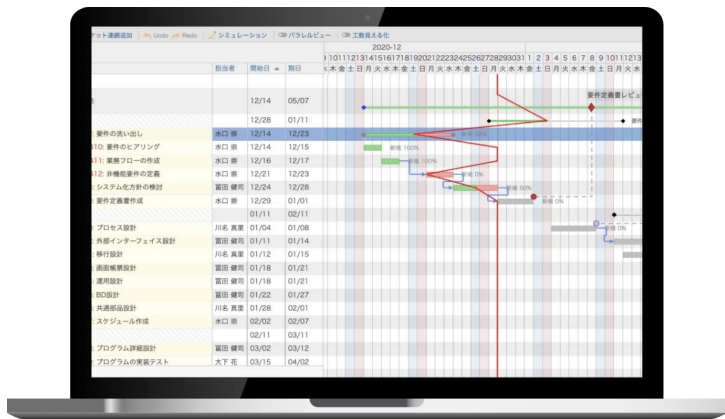
これで一つのスプリントが終了しました。  
ふりかえりで業務ワークフローを改善しながら  
迅速かつ継続的なリリースをしましょう！



Lychee Redmineの概要

## **03.** Lychee Redmineでできること

# Lychee Redmine とは？



多機能で使いやすい**ガントチャート**、**工数の見える化**と管理、  
QCDの可視化や報告書作成に使える**レポート**、**EVM**、**CCPM**、  
アジャイル開発に使える**カンバン** & **バックログ**など豊富な機能が特徴。  
**大規模なプロジェクト管理から少人数のタスク管理まで**  
**幅広く対応できる機能が揃っています。**



ガントチャート



カンバン



リソース  
マネジメント



タイム  
マネジメント



EVM



プロジェクト  
レポート

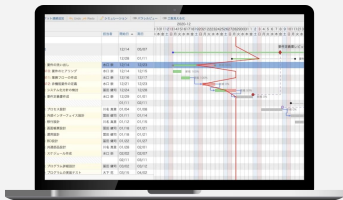


コスト

プロジェクト管理をより本格的に行いたい企業様は、ぜひLychee Redmineをご利用くださいませ。  
他のお役立ち資料も貴社のプロジェクト管理に貢献できれば幸いです。

最後までご覧いただき、ありがとうございました！

Lychee Redmine  
30日間無料お試し



[無料体験版を  
今すぐ試す](#)

お役立ち資料



[お役立ち資料はこちら](#)

もっと詳しく



[Webサイトを見る](#)



株式会社アジャイルウェア  Agileware

アジャイルウェアホームページ: <https://agileware.jp/>

LycheeRedmine導入のご相談: <https://lychee-redmine.jp/contact/>

お問い合わせ先: <https://agileware.jp/contact/other-form/>